製品安全データシート

## 1　製品及び会社情報

1.1　製品の特定

製品名　：ローヤルアロー　ホイールクリーナー＆プロテクター
製品分類：外部用クリーナー
主な用途：車のホイールに付着した油脂類、ブレーキパット等の洗浄剤

1.2　会社情報


会社名：　株式会社ユーエスシー
住所：　〒１８３－００４４　東京都府中市日鋼町１番１　Ｊタワー
担当部門：　技術部　　担当者：
電話番号：　０４２－３５１－００１１　　ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０
作成者：　　e-mail：

制定日：　２０１６年５月２３日

## ２ 危険有害性の要約

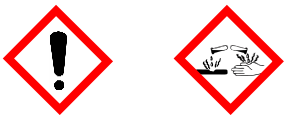
最も重要な危険有害性及び影響

GHS 分類

| | |
|---|---|
| 物理化学的危険性 | |
| 引火性液体 | 分類対象外 |
| 健康に対する有害性 | |
| 急性毒性（経口） | 区分４ |
| 急性毒性（経皮） | 区分４ |
| 急性毒性（吸入:蒸気） | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 | 区分１ |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | |
| 水生環境性有害性 | 区分外 |
| 水生環境慢性有害性 | 区分外 |
| オゾン層への有害性 | 情報無し |

GHS ラベル表示

・絵表示またはシンボル：



・注意喚起語　：危険

・危険有害性情報　：飲み込むと有害
皮膚に接触すると有害
重篤な眼の損傷

注意書き

＜取扱い上の注意＞

換気の良い場所で使用し、容器は使用毎に密栓する。
ミストの発散を抑え、作業環境濃度を出来るだけ低く保つように努める。
発生させたミストは吸い込まないようにする。
取扱い時は、適切な保護具を着用する。
取扱い後は、うがい・洗顔を行うこと。作業衣等に付着した場合は着替えること。
他の薬剤と混合させないこと。
付近に着火源となるもの(火気・スパーク・高温物)の使用を避ける。

＜応急措置＞

目に入った場合　直ちに清浄な流水で少なくとも１５分間以上洗眼する。
洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球，瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合　直ちに汚染した衣類、靴を脱ぎ、付着した部位を多量の水と石鹸を使って洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合　多量にミスト等吸引した場合、直ちに新鮮な空気の場所へ移し保温しながら安静にする。呼吸が困難な場合、ネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて人工呼吸を行う。呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合、気分が回復しない場合は直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合　水で口の中を洗浄し多量の水を飲ませる。その後直ちに医師の診断を受ける。意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

＜保管上の注意＞

液が漏出しないように密栓する。
高温多湿化での保管を避ける。
凍結の恐れのある場所での保管を避ける。
高温体との接触を避ける

## 3　組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

含有成分及び含有量

| 成分名 | 含有量ｗｔ％ | CAS　No. | 化審法No | 安衛法No | PRTR法No. | 毒劇物法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 両性界面活性剤 | ５　＞ | 非公開 | 非公開 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| 無機アルカリ塩 | １　＞ | 非公開 | 非公開 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| グリコール類 | ５　＞ | 非公開 | 非公開 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| キレート剤 | ５　＞ | 64-02-8 | 2-1265 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| 有機系アルカリ塩 | １　＞ | 非公開 | 非公開 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| 精製水 | バランス | 7732-18-5 | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |

注）化審法№　化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
安衛法№　労働安全衛生法（安衛法）第 57 条の 2 第 1 項政令指定物質の政令番号
PRTR 法№　特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）対象化学物質の政令番号
毒劇法№　毒物及び劇物取締法の政令番号

## 4　応急措置

目に入った場合：こすらずに直ちに清浄な流水で少なくとも１５分間以上洗眼する。
コンタクトレンズははずし、洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球，瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：直ちに多量の水をのませ薄める。意識のない場合は、口から何も与えてはならない

皮膚に付いた場合：ただちに付着した部位を多量の水と石鹸を使って洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合　：多量にミスト等吸引した場合、直ちに新鮮な空気の場所へ移し保温しながら安静にする。呼吸が困難な場合、ネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて人工呼吸を行う。
呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合、気分が回復しない場合は直ちに医師の診断を受ける。

## 5　火災時の措置

消火剤　　本製品は燃焼しない

消火方法　　本製品は燃焼しないが火災時には火元から遠ざける。
消火者の保護　　適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護眼鏡）を着用する。

## 6　漏出時の措置

人体に対する注意事項　　漏出防止、除外などの作業は、必ず、保護具を着用する。
環境に対する注意事項　　流出出した製品が河川などに排出せれ、環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和などの浄化の方法
多量の場合　土嚢で流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に回収する。
その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗浄した水は地面や排水溝にそのまま流さないこと。回収して適当な容器に入れる。
少量の場合　ウエス、おがくず等に吸収させて空容器に回収する。残りは多量の水で洗い流す。

## 7　取扱い及び保管上の注意

＜取り扱い上の注意＞
換気の良い場所で使用し、容器は使用毎に密栓する。
ミストの発散を抑え、作業環境濃度を出来るだけ低く保つように努める。
発生させたミストは吸い込まないようにする。
取扱い時は、適切な保護具を着用する。
取扱い後は、うがい・洗顔を行うこと。作業衣等に付着した場合は着替えること。
他の薬剤と混合させないこと。
付近に着火源となるもの(火気・スパーク・高温物)の使用を避ける。
＜保管上の注意＞
液が漏出しないように密栓する。
高温多湿化での保管を避ける。
凍結の恐れのある場所での保管を避ける。
高温体との接触を避ける。

## 8　ばく露防止措置

＜製品の有害性及びばく露濃度基準＞
管理濃度　　設定されていない
許容濃度
日本産業衛生学会　設定されていない
ＡＣＧＩＨ　　設定されていない
保護具　　保護眼がね、保護手袋 保護護マスク
設備対策　　局所排気装置

## 9　物理及び化学的性質

外観　　無色透明液体
臭気　　無し
比重　　１．０１（原液　２０℃）
ｐＨ　　１２－１３　（アルカリ性）
溶解性　　水に溶解する
引火点　　引火しない
爆発限界　　（下限）無し　（上限）無し
蒸気圧　　データなし
可燃性　　燃焼しない
発火点　　発火しない
酸化性　　無し

## 10　安定性及び反応性

安定性　　通常の取り扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
避けるべき条件　　高温
混融危険物質　　酸性物質と反応して発熱する
危険有害な分解生成物　無し

## １１　有害性情報

**両性界面活性剤**　　現時点では、通常に取扱いによる有害性は確認されていない

急性毒性

経口　　ラット：$LD_{50}$　２０００ｍｇ／ｋｇ　以上

皮膚刺激性・腐食性

刺激性あり（ウサギ/ＣＥＳ１０）

眼に重篤な損傷・刺激性

重篤な眼球損傷のリスク有（ウサギ/ＣＥＳ１０）

呼吸器感作性または皮膚感作性

無し（モルモット/OECD　406/類推データ）

生殖細胞変異原性　無し（Ames　ｔest/類推データ）

がん原性　　情報無し

生殖毒性　　情報無し

標的臓器／全身毒性（単回ばく露）情報無し

標的臓器／全身毒性（反復ばく露）情報無し

吸引性呼吸器有害性　　情報無し

**無機アルカリ塩**

急性毒性

経口　　マウス　$LD_{50}$　７７０ｍｇ／ｋｇ

ラット　$LD_{50}$　１１５０ｍｇ／ｋｇ

イヌ　　$LDL_0$　２５０ｍｇ／ｋｇ

腹腔　　モルモット$LDL_0$　２００ｍｇ／ｋｇ

皮膚刺激性・腐食性　情報無し

眼に重篤な損傷・刺激性　ラビット　250（ｍｇ/２４ｈｒ）　Severe

その他の毒性　　実験報告はない

**グリコール類**

動物を用いた試験

急性毒性

経口　　ラット　$LD_{50}$　４．３　ｇ／ｋｇ

急性経皮毒性（農水省試験ガイドラインに準拠）ラット　$LD_{50}$　２０００ｍｇ／ｋｇ以上

人に対する影響　　ヒト対する皮膚パッチテスト：４８時間の試験で男女ともに陰性

皮膚刺激性・腐食性

一次皮膚刺激性試験　ＰＩＩ指数：０．０４（米国環境保護局 EPA の殺虫試験ガイドラインに準拠）

眼に重篤な損傷・刺激性

一次眼刺激性試験（米国環境保護局 EPA の殺虫試験ガイドラインに準拠／ウサギ）

やや刺激性はあるが、９～１０日後には回復する。蒸留水で投与３０～

６０秒後に洗浄すると刺激性は軽減する。

呼吸器感作性または皮膚感作性　情報無し

生殖細胞変異原性　（細菌を用いる復帰変異試験／ＡＥＭＳ　ＴＥＳＴ）変異原生なし

がん原性　　情報無し

生殖毒性　　催奇形成：（妊娠６～１６日の器官形成期に投与／ＦＤＡ法に準拠）無し

標的臓器／全身毒性（単回ばく露）　情報無し

標的臓器／全身毒性（反復投与吸入毒性試験（ラット・500ｐｐｍ・２８日間）

内臓の病理学上、組織学上、機能上の検査で著しい変化を認めず。

内臓 GOT 及び肝臓の重量の若干の増加が見られたが、その他の検査では

なんらの以上も求められなかった。

経口　マウス　$LD_{50}$　５．８３　ｇ／ｋｇ

経皮　マウス　$LD_{50}$　２０００　ｍｇ／ｋｇ以上

吸引性呼吸器有害性　情報無し

**キレート剤**

急性毒性

経口　　マウス　$LD_{50}$　２７００ｍｇ／ｋｇ

皮膚刺激性・腐食性　ウサギの皮膚　５００（ｍｇ/２４ｈｒ）中程度の刺激

眼に重篤な損傷・刺激性　ウサギの眼１００（ｍｇ/２４ｈｒ）中程度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性　　情報無し

生殖細胞変異原性　情報無し

がん原性　　情報無し

生殖毒性　　情報無し

標的臓器／全身毒性（単回ばく露）情報無し
標的臓器／全身毒性（反復ばく露）情報無し
吸引性呼吸器有害性　　情報無し

## １２　環境影響情報

**両性界面活性剤**

水生環境急性有害性
生態毒性　　魚毒性：Zebra　fish　96H　LC50　15（mg/L）OECD203／類推ﾃﾞｰﾀ
バクテリア毒性　EC50＞2000mg/L（Pseudomonas　putida/DIN38412T.8/類推ﾃﾞｰﾀ）
水生環境慢性有害性　情報なし
残留性／分解性　　９５％（２８Ｄ/ＯＥＣＤ３０１Ｅ／類推データ）
ＤＯＣ生分解率＝７４％
生体蓄積性　　情報なし
土壌中の移動性　　情報なし
オゾン層有害性　　情報なし

**無機アルカリ塩**　　生態影響に関わる実験報告はない

**グリコール類**

水生環境急性有害性
生態毒性　魚毒性（JIS K 0102-55）TLm 7400ｐｐｍ（ﾋﾒﾀﾞｶ　４８時間）
水生環境慢性有害性　情報なし
残留性／分解性　　生分解性物質である
ＤＯＣ生分解率＝７４％
生態蓄積性　　魚類への蓄積性は（コイ　４８時間）

**キレート剤**

水生生環境急性有害性
生態毒性　魚毒性 TLm９６：100-1000（mg/kg）事実上無毒

水生環境慢性有害性　情報なし
残留性／分解性　　難分解性
生態蓄積性　　魚類への蓄積性はなし（コイ　４８時間）

## １３　廃棄上の注意

廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。
容器、製造装置などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。
排水処理により発生した廃棄物についても　廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

## １４　輸送上の注意

国連分類　該当せず
国連番号　該当せず
陸上輸送　取扱い及び保管上の注意の項に従う。
海上輸送　船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送　航空法に定めるところに従う。
注意事項　運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。

## １５　適用法令

消防法　　該当せず
労働安全衛生法　　該当せず
毒物及び劇物取締法　該当せず
ＰＲＴＲ法　　該当せず

## １６　その他の情報

引用文献


・GHS 対応による混合物（化学物質）の MSDS 作成法の研修テキスト
中央労働災害防止協会
・15107 の化学商品　化学工業日報社
・製品安全データシート　各社　２００５年以降発行

・化学品の分類および表示に関する世界調和システム（ＧＨＳ）改訂４版　国際連合

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により改訂されることがあります。又危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので製品の取扱いには充分注意して下さい。また、情報は安全を保証するものでは有りません。本品の適正な使用については使用者の責任において行ってください。

# [会社情報]

**販売者：(株)オートランド札幌**
**所在地：札幌市厚別区厚別中央3条6丁目1-35**
**TEL:011-892-3400**